



厚生労働省発表
平成20年11月7日

厚生労働省大臣官房統計情報部
担当：雇用統計課労働経済第一係
電話：03(5253)1111 内線 7622
03(3595)3145 (夜間直通)

平成19年就業形態の多様化に関する総合実態調査結果の概況

○結果のポイントは以下のとおりです。

- ・ 正社員以外の労働者がいる事業所は全体の8割、パートタイム労働者がいる事業所は6割
- ・ 正社員以外の労働者の活用理由では「賃金の節約のため」、「1日、週の中の仕事の繁閑に対応するため」が多い
- ・ 正社員・出向社員以外の労働者で現在の就業形態を選んだ理由は「自分の都合のよい時間に働けるから」、「家計の補助、学費等を得たいから」など

【事業所調査】

- 1 正社員以外の労働者がいる事業所の割合は77.2%であり、就業形態別に最も割合が多いのは、パートタイム労働者がいる事業所の59.0%となっている。(P6表1-1、P7表1-2、第1図)
- 2 正社員以外の労働者の割合は37.8%で、就業形態別にはパートタイム労働者が22.5%と最も多く、飲食店、宿泊業、卸売・小売業の産業で割合が高い。(P8表2-1、P9表2-2、第2図)
- 3 正社員以外の労働者の活用理由(複数回答3つまで)としては、「賃金の節約のため」40.8%、「1日、週の中の仕事の繁閑に対応するため」31.8%、「即戦力・能力のある人材を確保するため」25.9%を挙げる事業所が多い。(P13表5、P14第4-1図)

【個人調査】

- 1 正社員・出向社員以外の労働者で現在の就業形態を選んだ理由(複数回答3つまで)としては、「自分の都合のよい時間に働けるから」42.0%、「家計の補助、学費等を得たいから」34.8%を挙げる者が多い。(P22表1-2、P23第7-1図)
- 2 正社員以外の労働者の今後の就業に対する希望としては、「現在の会社で働きたい」が66.7%と多い。一方、希望する働き方としては、「現在の就業形態を続けたい」が68.8%、「他の就業形態に変わりたい」が30.6%となっている。(P24表1-3、表1-4-1)
「他の就業形態に変わりたい」とした労働者のうち、90.9%が「正社員」を希望している。(P25表1-4-2)
- 3 正社員になりたい理由(複数回答3つまで)としては、「正社員の方が雇用が安定しているから」80.3%、「より多くの収入を得たいから」74.1%を挙げる者が多い。(P26表1-5、P27第9-1図)